

民生委員経験者の私とAA

埼玉県本庄市 元民生・児童委員

青木明子

私は民生・児童委員経験者です。私とAAとの出会いとAAについて書かせて頂きたいと思います。

私はクリスチャンです。私がAAと出会ったのは、AAがカトリック本庄教会の会場を使われるようになって、早くから来てミーティングの準備をされていたAAの方に声をかけていただいたことがきっかけでした。いつも早く来られて一生懸命に準備されている姿を拝見していると、集まりをととても大切にされていることが分かりました。ミーティングに参加させて頂いて、よりAAの雰囲気の魅力を感じました。お話の内容はとても壮絶なものでしたが、皆さんの謙虚で正直な姿に、社会の集まりとは違う特別なものを感じました。壮絶だけれど淡々としていて、圧力や堅苦しさを感ぜない平等な不思議な平安がありました。またそのプログラムの内容を知り、大きな魅力を感じて、もっと知りたいと思うようになりました。私は、誰もが求めている、「人はどのように生きたらいいのか」という答えが、苦しむAAの方々ところに種として蒔かれたことに感動し、今、その実を頂くことができることに感謝しています。

私が民生委員として活動していた時の私の地区では、アルコールで苦しむ人について、会議などで触れることはほとんどなく、AAの存在も知りませんでした。酔っぱらって近所の人々が迷惑し、苦情を受けたことを聞いたことはありますが、AAの存在も知らず、苦情への対応や見守りなどの支援にとどまったようでした。個人的には、AAの集まりに参加していただいて、理解を深めていただけたら嬉しいと思います。また、アルコール依存症は病気であることを理解していただけたら、苦しみを分かっていただけではないかと思いました。飲まないで社会で活躍されている方の存在なども、とにかくAAのことを知っていただくことを願います。

AAの方々でも民生・児童委員の存在や役割を知らない方もいらっしゃるということで、AAのセミナーでお話しさせて頂きました。その時に、「ある市では民生委員がAAの存在を知っていて、民生委員によってAAにつながった仲間がいる」と、話に来てくださるAAの方がいらっしゃいました。民生・児童委員がAAを知ることによって救いにつながると改めて分かりました。対応の難しいアルコール問題について、AAが社会資源として民生・児童委員の相談に乗ってくださり、アルコール問題についての対応のノウハウを持っていることを、より多くの民生・児童委員の方々に知っていただきたいと心から思います。

私の地域の現在の民生・児童委員の方に、AAのことをお話しさせて頂きました。その方は、「最近では、以前にはなかった自死を止めるガードキーパーの研修などを通して、苦しむ人の気持ちを学ぶようになったので、困った時には相談してほしい」と言われました。

私はアルコールで苦しむ人たちやその家族の方々が、民生・児童委員や様々な関係機関を知り、AAにたどりつくことを願います。また、様々な機関がAAについてよく知るようになることも希望します。そのためにできることを少しでもお手伝いさせて頂きたいと感じています。苦しむ人が、AAのプログラムと仲間によって救われ、喜びと平安を生きる恵みを祈ります。